



広報

わでな

編集と発行

発行 嘉手納町役場

編集 企画課広報係

〒904-02

嘉手納町字嘉手納588番地

☎ 09895(6)-1111

(内線331)

印刷:ロータリー印刷

4月1日の人口

	東区	上区	中区	北北区	南区	西区	西浜区	計
世帯数	692	437	414	549	586	578	568	3,824
男子	1,369	795	763	976	971	1,088	1,210	7,172
女子	1,318	831	771	994	1,014	1,124	1,149	7,201
計	2,687	1,626	1,534	1,970	1,985	2,212	2,359	14,373

上記には外人登録を含まず



“こいのぼり”

健康な子供達の成長を願って
五月晴れの空にコいのぼりは天高く
泳いで……

(四月三十一日・第三保育所)

嘉手納高校が開校・入学式

個性の確立と人格の完成を教育理念に

第一期生二六〇人が入学

嘉手納高校（徳森久和校長・生徒数二六〇人）の開校・入学式が民館ホールで行われ、先生及び生徒をはじめ父兄、来賓等約七百人が出席し行われた。

式典は、開校宣言、校旗の樹立の後、池原早苗氏作詞による「嘉手納高校開校の歌」が全生徒により

手納高校開校の歌」が全生徒により

り声高らかに歌われた。その後、式辞で徳森校長は「高校生活で将来への発展のための基盤づくりをし、これからどのような社会・世界が来ようとも、それに敢然と立ち向かっていくことの出来る資質と能力を養ってほしい」とあいさつがあった。

また、来賓祝辞で吉浜町長は「第一期生として素晴らしい学校になるよう努力し、嘉手納高校のよき村の中学校となっておりま。

伝統づくりの責任を忘れないように」と励ましのことがあった。

嘉手納高校は、嘉手納町字屋良八〇六番地（旧栄橋の嘉手納側）に敷地面積四四、四二九㎡で、全日制普通高校として開校、通学区域については、嘉手納中学校と読谷村の古堅中学校（読谷高校との二校選択）、北谷町の桑江中学校（北谷高校との二校選択）の三町村の中学校となっております。

県議会議員選挙

投票日は六月十日

しあわせは・明るく正しい選挙から

任期満了に伴う、沖縄県議会議員選挙は昭和五十九年六月十日（第二日曜日）に行われます。

る者で、昭和三十九年六月十一日までに出生した者。

（この証明書は、前もって交付を受けておいて下さい）

投票日には、明るくきれいな選挙を推進するため、選挙人の自由な意志による誰にも左右されない清き一票を行使しましょう。

なお、原則として当町の選挙人名簿に登録されていた者で、昭和五十九年二月十日から六月九日までの間に、県内の他の市町村へ転出した者は、現住所の市町村から居住証明書の交付を受けて、この証明書を当町の投票所に提示して投票できます。

不在者投票期間

昭和五十九年六月一日から六月九日まで、毎日午前八時三十分から午後五時まで（町役場一階、町選挙管理委員会室）

昭和五十九年六月一日から六月九日まで、毎日午前八時三十分から午後五時まで（町役場一階、町選挙管理委員会室）

告示

投票日

昭和五十九年六月一日

投票所

昭和五十九年六月十日（日曜日）

午前七時～午後六時まで

投票できる者

昭和五十九年二月二十九日まで

に当町に住民登録をし、引続き五月三十一日まで住所を有す

第一投票所

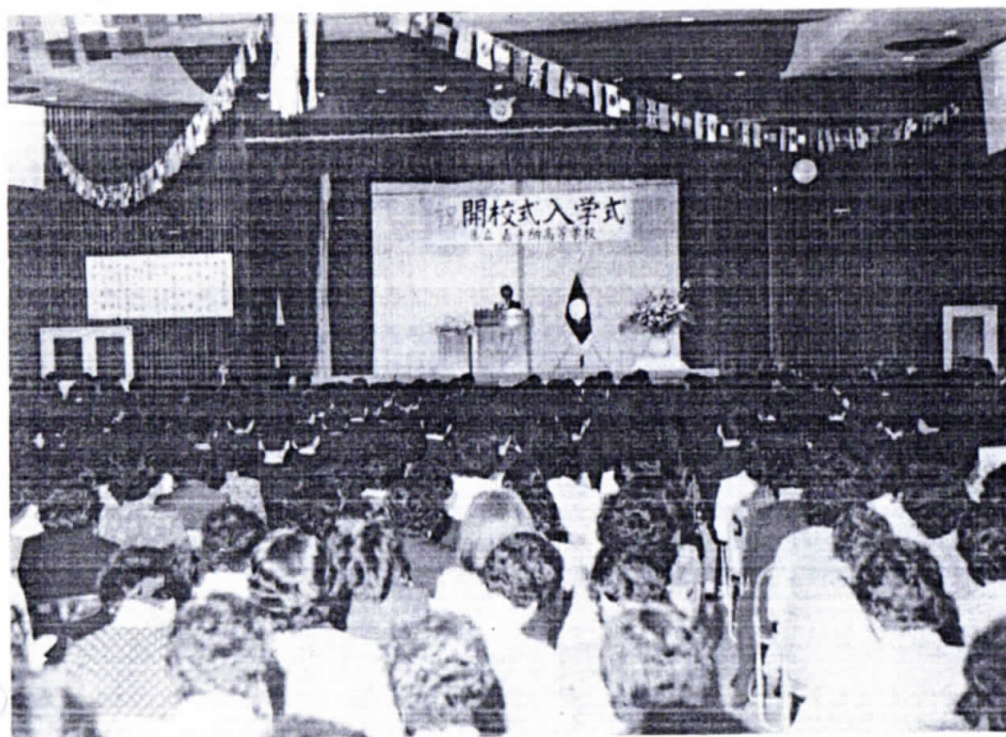
嘉手納町中央公民館ホール

第二投票所

嘉手納小学校体育館

※ かわいいことについては町選挙管理委員会へお問い合わせ下さい。（☎六〇一一一・内線二二四）

票でできます。



▲ 厳粛な中で挙行された嘉手納高校の開校・入学式（4月10日・中央公民館ホール）

お母さんは一人二役のがんばり屋さん

「母の日」作文特集



神村エミ子さん 当山 愛子さん 古謝シズ子さん 名嘉喜代子さん 石嶺ツル子さん 池原 春子さん 金城 裕子さん 西表千代子さん

五月十三日は「母の日」、屋良嘉手納の両小学校の皆さんが書いた「お母さん」の作文の中から、「母の日」にちなみ、八点を紹介いたします。

「いそがしいお母さん」「働き者のお母さん」「お母さんの手は魔法の手」「お母さんは一人二役のがんばり屋さん」―女は弱しされど 母は強し―

ミシンをつかうおかあさん

屋良小学校 二年

いりおもて なみ子



いりおもて なみ子さん

いつもわたしがあさおきるとき、やさいをきっているコトコトという音がきこえてきます。

わたしがいくら早くおきても、

おかあさんはもうおきています。

わたしがおきておかあさんに、

「おはよう」

というとき、おかあさんが

「いまおきたの」

といいます。

ごはんをみんなにあげてから、

手をあらってすぐにミシンのところ

にむかつていきます。ちゅうもん

んされたようふくとスカートをぬ

います。足を早くふんで手をつか

つて、とてもまじめなかおをして、

わたしたちがはなしかけてもむち

ゆうになって、ぜんぜんはなしを

きいてくれません。わたしはいそ

がしいんだなあとおもってはなし

をしません。

いっしょうけんめいやつて、と

きどきゆびをはりですすときがあ

ります。でたちを早くとめないで、

つぎのしごとができないので、早

くちをとめます。こんなにもちを

だしても、早くとめてしごとをや

るのでたいへんだなあ。とおも

います。

わたしはおかあさんに

「おかあさん、くすりとりしをもつてくるからねえ」といいます。

わたしは、くすりをつけてあげようとしても、おかあさんはじぶん

でつけます。

おかあさんは、ときどきつかれたときは

「ああ、つかれたあー」といって、すわってぼんやりとし

たときは

「ああ、つかれたあー」といって、すわってぼんやりとし

たときは

「ああ、つかれたあー」といって、すわってぼんやりとし

たときは

大へん

嘉手納小学校 三年

金城 武志



金城 武志 くん

今日も、五時ごろ台どころに立

った。そして

「よし、きめた、とんかつにしよ

う」といって、れいぞうこからとんか

つを出して、まないたの上になら

べた。

すると、とつぜん、せんたく場

に走っていき、せんたくきに水を

入れるとスイッチをおした。ギュー

ーギューと音が聞こえてきた。パタ

パタパタとどつてくると、コンロ

の上にフライパンをおき、火をつ

けた。そんなお母さんを見ると大

へんだなあと思う。

とんかつを一まい一まい、長い
はしで入れている。そのたびに、
ジュージューという音がなべから
聞こえてくる。ぼくは

「おいしそうだなあ。早く食べた
いなあ」

とおなかで思った。だんだんいい
においがしてきた。こんどは、一
まい一まいうらがえしてからさら
にとつていた。そして、その上に
ペーパーをかぶせた。

「わあい、もう食べられるぞ、う
れしいなあ」

と思つていたら、またお母さんは、
せんたく場に走つていった。

せんたくきの前に立つと、

「ふうー」

と一いきついで、せんたくきの中
に手をつっこんで、せんたくもの
をつかんでだっすいききの中に入れ
た。スイッチを入れると、ガタガ
タガタといきましい音がひびいて
きた。

まるでお母さんみたいに、うご
いている。いそがしそうに台どこ
ろにもどつてくると、

「たつや、とんかつとりにおいで、
ごはんもはこんでよ」

と、いつの間にか、夕ごはんのじ
ゆんぴができていた。すごいや、
まるで手じなだ。お母さんにはか

ん心させられるなあ。

大きな口でパワーシヤベルみた

いに、ガツガツ食べおわると、せ
んたく物をだっすいききからとり出
して、かごにうつした。

「やつとおわったんだなあ。早く
休めばいいのに」

と心の中でぼくは思った。

でも、台所にもどつてきたお母

さんは、ながしにあるはしやおわ
んをあらいはじめた。水をザァー
ザァーながして、スポンジにせっ
けんをつけてゴシゴシあらつてい

た。せっけんが水といっしょにな

がれていくのを見ると、ぼくまで
気持ちよくくなった。

また、お母さんはせんたく場に
もどると、せんたくかごをもつて
外に出ていった。そして、一まい
一まいいていねいにほしていた。
「やつとおわったんだなあ」

とぼくはほつとした。

お母さんて、ほんとうに休むひ
まもないんだなあ。ぼくが、でき
るしごとはやらなくちやいけな
いなあと考えさせられました。

お母さん

屋良小学校 三年

池原 学



池原 学くん

出ています。

お母さんのとくいなことは、ミ
シンでようふくをぬうことです。

この間、妹のワンピースを作つて
いました。えりやすその方にフリ
ルをつけました。えりの方にリボ
ンもつけたので、妹は大よろこび
でした。気に入ったとみえて、ワ
ンピースを着ると、とんだりはね
たりしていました。

お父さんたちといっしょに畑に
出かけることもあります。今、ピ

ーマンのしゅうかくで、とつても
いそがしそうです。

ピーマンをとつて来ると、家で
は家ぞくそろつてピーマンをやわ
らかいたオルで一つ一つきれいに
ふきます。それから、ダンボール
のはこにきれいにならべてはこづ
めにします。

その時、お母さんはダンボール
のはこにガムテープをはったり、
できたはこをげんかんの前に、

「よいしょ、よいしょ」
と言いながら、つんだりします。

「大へんだなあ。よくはたらくな
あ」

「びよう氣をしたらどうしよう」
と心ばいになることがあります。

ぼくが二年生の時、いがいたく
なつたことがあるからです。お母

さんが、びよう氣になったら、自
分たちでごはんをつくつて食でな
いといけないからたいへんです。
夕はんの後かたづけをしている
時、とつてもつかれているように
見えます。

おちやわんをあらいなながら

「フツ」

とためいきをついたり、こしをト
ントんとたたいたりします。

かわいそうになつて、お姉さん
と二人でお手つだいすることもあ
ります。

お母さん、びよう氣にならない
ようにがんばってくださいね。

いそがしいおかあさん

嘉手納小学校 三年

石嶺 桐子



石嶺 桐子さん

おかあさんは、朝早くおきてぎ
ゆうにゆうはいたつに行く。

ぎゆうにゆうのいつはい入った
はこはともおもそう。ぎゆうに
ゆうはおかあさんの赤いアルトの、
車の後の二つのはこの中にたくさ
んつめられる。おかあさんは一時
間で帰ってくる。六時に行つて七

時に帰ってくるのです。

四月十六日、月曜日の朝、おか

あさんに、

「早くじゅんぴしなさい」

とおこられた。わたしは、

「もうじゅんぴしたよ。おにいさ

んとさと子がおそいでしよう」

といった。そのとき、二年生でお

なじクラスだったあき子さんと、

あき子さんの弟がむかえに来てい

た。わたしはどうしようかとまよ

っていた。それで、おかあさんに、

「どうする」

ときくと、

「あき子さんたちは、みなとどお

りから歩いてもらいなさい。すぐ

に出るから」

とあき子さんにいうと、

「いいよ」

といって、あき子さんたちはさき

に行きました。

すぐに、わたしたちはごはんを

食べておかあさんの車にのりまし

た。

「早く行かないとちこくするよ」

といったので、おかあさんは

「はい、はい、いまいくよ」

といって、おかあさんの車はしゅ

っぱつした。早くあき子さんにあ

えるといいのにと、わたしの心は

いっぱいだった。とちゅうあき子

さんにあったので車にのせました。

「もうきたの、早いね」

とかんしんしていました。

「早くいいのよ」

「それにしても、早いね」

「ごめんないね、あき子さん」

と、おかあさんもあやまっていた。

おかあさんに、車からおろして

もらったところは、しろありとか

いてあるところで、あき子さんと

二人、早歩きしながらお話をし

て学校へ行きました。

わたしたちをおろしたおかあさ

んは、ようちえんのさとこを校門

までおろして、おうちへ帰ります。

せんたくをして、せんたくもの

をほして、おわんをあらって、お

うちをかたづけて、そうじをして、

日本生命に行く。わたしは、おか

あさんはたいへんだなあと思った。

おかあさんのしごとは月・火・

水・木・金曜日は朝の九時十五分

に行つて六時に帰ってくる。土曜

日は、九時十五分に行つて十二時

に帰ってくる。

九時ぐらいまでは、しろありた

いじのために、おとうさんとい

をはったり、くぎをうったりいそ

がしそうです。

その間に、わたしたちはしゅく

だいをしたり、わたしたちが小さ

いころ、かべにらくがきしたもの

をみんなでおとして、ホワイトの

ペンキをぬりました。

おかあさんがねむるころは十一

時です。

わたしは、おかあさんはとても

たいへんだなあと思いました。

ねる時だけです。私たち兄弟が学

校に出かけてから、お母さんの一

日が始まるのです。かたづけも

かたづけでも、弟が起きているか

ぎりかたづけません。細い体で、

よくがんばっています。

夕はんの時、お母さんが、

「いまごろ、パパが生きていたら、

こんなふうにならなかつたのにね」

と、さびしそうに考えこんでいる

すがたを見て、私は、「じゃあ、

またけつこんすればいいよ」

といったら、お母さんは、ニコニ

コして

「できたら、そうしたいね」

といいました。

「今にもパパが帰つてきそうだね」

といいました。

私たちのお父さんは、私が一年

生の時に病気でなくなりました。

それでお母さんは、一人二役が

んばっています。私たち兄弟のこ

とや家でのすべてのことを、いつ

も一人ががんばっているんです。

あの細い体を見ていると、ときど

きふつとかわいそうになるときが

あります。

おいしいごはんを作ってくれた

り、洗たくをしたり、かたづけも

します。お母さんはきれいずきな

ので、おうちはピカピカです。そ

れを見てお母さんは、えらいな

と思います。

私は、よくおこられます。そう

いう時など、パパがいたらなーと

思います。だけど、やっぱり家族

の事やいろんな仕事は、お母さん

でなくてはいけないと思います。

私がいやな、仕事や勉強のこと

なども色々やってくれます。テ

ストで悪い点数を取つてきてかく

すと、すぐ見つけて

「かくさないで、見せなさい」

としかれます。私もおこります

そんな時

「おこるのは、だれのためでもな

く、あなたのためなんですよ」

と言われ、なるほどと思いました。

おこられないで、自分ができるよ

うになりたいと、心の中で思いま

した。

赤ちゃんの時の写しんを見なが

ら、

「苦しんで、あなたたちを生んだ

のよ、りっぱな子になるんですよ

パパもいないんだから、人より何

ばいも勉強して、りっぱなしよく

業を持ちなさい」と言います。

夕ごはんは、お母さんをかこん

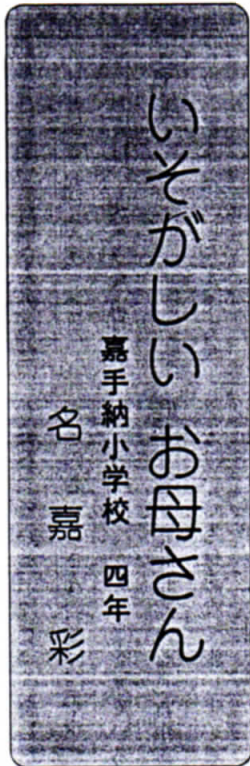
で五人で食事をします。その時が

家族の話し合える時間です。いろ

んな話し合います。



名 嘉 彩 さん



「彩は、医者にならない」と言うとき、お姉ちゃんたちが「彩なんか、血を見ただけで気持ち悪くなるんだってよ」とひやかします。そしたらお母さんが

「はじめは、みんな血はこわいのよ、そのうち、医者は一週間の夏休みもがまんができないほど、血のにおいがこいしくなるんだってよ」といいました。

私はびっくりしてしまいました。私のパパは医者さんだったからです。しばらくたってから、お母さん

は仕事に取りかかりました。お母さんは、私たちとゆっくり話しこむ時間などないのです。

お父さんの役目もしてるからです。ときどき、まるでお父さんみたいです。

そんなことで、お母さんのあだ

な「サザエさん」です。サザエさんは、お父さんよりすごいです。

そんなお母さん、いつまでも長生きして下さい。

私たち兄弟、協力するからね。

働き者のおかあさん

嘉手納小学校 五年

古謝 健作



古謝 健作 くん

「みんな早くおきなさいい」いつものおかあさんの声だ。まる

で目ざまし時計だ。起きてみるともうご飯の準備はできている。おかあさんは朝早く起きてご飯を作っていたんだなあ。

テーブルには、ご飯、おかず、みそしる、とんかつ……と、いっぱいおわんに入れられている。いつもぼくの大きな物ばかりだ。ぼくは急におながすいたみたいになる。

おかあさんはいつもいそがしうだ。ぼくがご飯を食べている時は、おかあさんはかがみの前でパタパタとおけしようにしている。その顔はともしんけんである。ぼくが食べ終わると、おかあさんも終わっている。けしようにしたあとのおかあさんの顔は三十才に見える。ぼくがテレビを見ている時には着がえをしている。おかあさんはいつも休みなく働いている。いもうとがいつもの調子で「洋服がない」「洋服がない」が始まる。おかあさんはすばやく見つけてあげる。妹はもう二年生だから、自分で働く場所をきめてやらせたほうがいいと思う。

私のおかあさんは仕事をもっています。おかあさんが家から出る時必ずやるがあります。まずゴミのいっぱい入った袋を家の前までもってきて、きちんとおくこととです。ぼくは感心します。なぜかと言うと、何日もやっている一回ぐらいいはださないうときが、ふつうの人ならあると思うけど、おかあさんの場合はまだ一回もださないときはぜったいありませんでした。

おかあさんは、ぼくたちが勉強している時は給食センターで大きなしやもじで、大きななべの中に入っているやさいや肉とか、ほかにもいろいろなものが入っているのをかきまわすので、もちろんあせも出ます。そのためか、おかあさんはこのごろやせてきたので、ぼくたちは本当におどろきました。

おかあさんは、仕事から帰ってくるとすぐにせんたくをします。だれどこのごろはお父さんもせんたくやほすのをてつだつてくれます。ほす時は、二かいまではこんで行き、そしてせんたくばさみをもちこんどんぼして行きます。それが終わるといそいで夕ご飯を作ります。できあがると、みんなを大声で「ごはんですよ」とよびます。

でもみんなはテレビにむ中になつて、なかなか一回では聞かないので、こんどはお父さんが、おこつたような声で「ごはんはいっしょに食べなさい」と言う一声で、みんなはしよくたぐに付きます。

おいしい物が出ると、みんなとりあいますので、お父さんがさらに入れてわけてあげます。

みんながご飯を食べ終わると、またあとかたづけを始めます。おわんをあらう時はおねえさんといつしよにやります。その時はおかあさんは少しらくのように見えます。だけど、ぼくが一人でおわんをあらうと手くびがいたくなります。ぼくはとてみたいけど、おかあさんはぜんぜんいたくなさうです。

おかあさんは、ぼくたちのためにいろいろな仕事をしています。給食センターでの仕事、せんたく、おわんあらう、ごはん作り、買い物……。おかあさんは一人でこんなにいっぱい仕事を一日中しているなあとと思うと、とてもえらいなあとと思います。

一日の仕事が終わって、おかあさんは新聞をひろげて見ます。でも、新聞を読みながらと中でねむってしまいます。そんなときは、ぼくがふとんをしいてあげます。ふとんをしきおわるとおかあさんを起こして、「ふとんの上でねむったら」というと、

「ありがとう」と言いました。

ぼくは、たぶんおかあさんは心の中で一日もおわったし、明日もがんばろう。と言っていると思います。

おかあさんのために、ぼくはなにか仕事をてつだいたいと思いま

わたしの母

屋良小学校 六年
当山りえ



当山りえさん

力があります。

兄弟げんかをする、

「りえ、あなたが文句をわなければ、こんなことにならなかったでしょう。それとも、あなたは悪くないっていうの」

母は、とても陽気で明るくおもしろい人です。友達が来ると子どものようにはしゃぎます。スターの歌を歌ったり、せん伝のまねをしたりして、私達をわらわせます。

妹の友達が

「おばさん、歌を歌ったり何かのまねしてみて。おばさんがやるのおもしろいから」

母が、一番私達のことを思ってくれているんだなと思うのは食事の時です。母は私達にはおいしい物を食べさせてあげようと、いっしょけんめい食事を作ってくれます。そして、食べる時には、自分は野菜とみそしるのだけと、あまりおいしいものを食べません。

そんな母なので、お母さんというよりも、友達みたいな感じがします。しかし、おこるととっても説得

「母ちゃん、お肉食べたら」

と言うと

「いいよ、あんた達がいっぱい食べてからあとで食べるよ」と言います。

母はお肉を食べないので、健康のためには少しでも食べてほしいなあと思っています。

ぼくのお母さん

屋良小学校 六年
神村盛敏



神村盛敏くん

がない。

「ぼくに、魔法が使えたら、お母さんをじょうぶな体にして、授業参観日などに出席させるんだけどなあ」

と思った。

お母さんは、ときどき、

「男に生まれればよかった」と言う。

「どうしてー」

「女は毎日働いてばかりでしょう、男は、日曜日は休むでしょう」

ぼくは、そんなことを言ったお母さんの気持ちがわかるような気がした。

それで、ぼくたちが夕食の準備やあとかたづけ、おつかいなどを手伝う当番を決めることにした。

ぼくのお母さんは、「浄霊」という、おまじないを毎朝、学校へ行くまえにぼくにしてくれます。

「お母さん、浄霊はどんなきめがあるの」

と聞いた。

お母さんは、

「ケガをしている人などにやると、だんだんよくなってくるよ」と言いました。

浄霊が出来る人は、特別なおまもりを持っています。

「ぼくも、もっているから友達などにやってみようかな」と思いました。

お母さんはこの頃、カラオケに夢中になっています。

ぼくは、歌がうまく、体の弱いお母さんをいたわって、大切にしたいと思います。

カブスカウト」募集中

『六月二日に発団式』

「そなえよ つねに」ーが、ボーイスカウトのモットーです。楽しい活動がいっぱいのカブ・ボーイスカウトに君も参加しませんか。小学三年生から六年生の男子が対象です。

※ かわいい問い合わせは町商工会(六二二八二〇)まで!!

図画と作文を募集

テーマ 豊かで住みよい国づくり

Ⅱ 国土建設週間Ⅱ

七月十日から十六日までは国土

建設週間です。この週間の行事の一環として建設省では、全国の小・

中学生の皆さんから豊かで住みよい国土の建設に関する図画・作文

を募集しています。

応募要領は次のとおりです。

テーマ

公園、河川、道路、住宅、下水道、ダムなどわたしたちの暮らしのまわりにあるものを通して豊かで住みよい国づくりを表

現したもの

応募規定

図画の部

○ 応募対象Ⅱ小学生

○ 用紙Ⅱ四ツ切画用紙

(36 cm×52 cm)

○ 色材料Ⅱ油絵具を除き自由

作文の部

○ 応募対象Ⅱ中学生

○ 原稿枚数Ⅱ二千字以内

応募期間

昭和五十九年四月一日から五月

三十一日まで

あて先

那覇市泉崎一ノ二ノ三三

沖縄県土木建築部総務課

〒1900661-3384

作品には必ず学校名・学年・

氏名(ふりがなを付ける)を明

記のこと。

なお、作品は沖縄県で地方審査を行った後、建設省で行う中央審査で入賞作品が決定されます。



昭和五十九年度

町体協行事日程決まる

五月六日野球大会でスタート

嘉手納町体育協会(比嘉朝盛会

長)では、四月十二日、南区公民

館で行われた評議員会において、

左記の通り、昭和五十九年度の行事日程が決まりました。

昭和59年度 町体協行事日程

月 日	行 事	会 場
5月6日	野 球 大 会	小中校グラウンド
13日	軟式テニス大会	嘉手納中コート
13日	バレーボール大会	嘉手納小体育館
27日	バスケットボール大会	嘉手納中体育館
6月10日	硬式テニス大会	嘉手納中コート
19~21日	ソフトボール大会	ナ イ タ ー
24日	バドミントン大会	嘉手納小体育館
7月4~6日	サ ッ カ ー 大 会	ナ イ タ ー
8日	卓 球 大 会	嘉手納中体育館
8日	剣 道 大 会	嘉手納小体育館
15日	ハンドボール大会	嘉手納小体育館
9月下旬	町陸上競技大会	水釜総合運動場
11月	町内職域野球大会	〃

嘉手納町立学校児童生徒数

昭和59年 4月 現在

学 校 名 学 年	屋 良 小 学 校				嘉 手 納 小 学 校				嘉 手 納 中 学 校			
	学 級 数	児 童 数			学 級 数	児 童 数			学 級 数	生 徒 数		
		男	女	計		男	女	計		男	女	計
1 年	3	40	52	92	5	97	74	171	6	143	128	271
2 年	2	37	36	73	4	79	79	158	6	138	115	253
3 年	3	48	49	97	5	81	102	183	7	147	141	288
4 年	3	48	51	99	4	79	81	160				
5 年	3	64	46	110	5	102	86	188				
6 年	3	59	46	105	5	104	79	183				
計	19(2)	296	280	576	31 (3)	524	501	1,043	21(2)	428	384	812

() は特殊学級

屋 良 幼 稚 園				嘉 手 納 幼 稚 園			
学 級 数	児 童 数			学 級 数	児 童 数		
	男	女	計		男	女	計
2	42	35	77	4	66	53	117

(われら仲間は今月休みます)

農民研修センター起工式

◆一億二千五百万円で建設◆

「農家の生産意欲の向上と、研修・交流の場に——」
と、四月三日午後、嘉手納農協東側で農民研修センターの起工式が行われ、来賓多数が出席する中、吉浜町長、當山農協長、玉城一郎玉城組社長によりクワ入れが行われた。

農民研修センターは、総工費一億二千五百万円の地上三階建てで、三七五人収容の大ホール、料理研修室、着付・茶前室（和室）、図書室などが予定されている。吉浜町長は「本町における農業は、農地の大半が黙認耕作地のため多くの課題をかかえているが、研修センターの完成後は、農家と地域住民の方々の研さんの場として多に活用し、町の第一次産業の振興発展に寄与してほしい」と起工式のあいさつがあった。



▲力づくクワ入れを行う吉浜町長、當山農協長、玉城組社長
(4月3日・農協東側敷地)



▲当山獣医の注射を受ける“チワワくん” (4月22日・上区公民館)

愛犬も家族の一員です

◆狂犬病予防注射◆

第一回目の狂犬病予防注射が四月二十二日、上区・西区公民館で行われ、七十五頭の愛犬が予防注射を受けました。
狂犬病は、犬から人へ伝染する恐ろしい人獣共通伝染病であり、狂犬のこう傷によって起こります。そこで、犬の所有者は狂犬病の発生とまん延を防止するため、飼い犬の登録及び六カ月ごとにその犬に狂犬病予防注射を受けさせなければなりません。
犬は、古来人間のよき友、家族の一員として生活を共にしてきました。正しく飼ひ長いおつきあいをしたいものです。

教育委に宮城清祐氏選任

◆眞壁朝詢氏の後任◆

任期満了に伴う嘉手納町教育委員の任命について、三定例会本会議において宮城清祐氏が全会一致で同意され、四月三日、町役場応接室において吉浜町長から辞令が交付されました。

宮城清祐氏は、現在、嘉手納中学校PTA会長を務めるなど、PTA活動にも熱心な方で、就任に際し「子供達の教育のため、諸先輩方と共に一生懸命頑張っていきたい」とあいさつがあり、吉浜町長から「本町の教育行政の確立と発展のため頑張ってください」と激励のあいさつがあった。

また、今回退任された眞壁朝詢氏は、昭和三十年の就任以来、六期にわたり教育委員を努められ、本町教育行政の基礎づくりをされた方です。
眞壁朝詢さん、長い間ご苦労さまでした。



▲吉浜町長から辞令を受ける宮城清祐氏
(4月3日・役場応接室)

